ゲンジボタル

（*Luciola cruciata*）コウチュウ目ホタル科

【生息地】エサのカワニナがいる水のきれいな水辺

【大きさ】オスは約１５mm、メスは約２０mm

【食　性】幼虫はカワニナ（巻貝）の肉を溶かして食べるよ。

【特　徴】卵、幼虫、サナギ、成虫と姿を変えても必ず光っているよ。

５月～６月に成虫になって、水だけを飲んで生活し、成虫の寿命は２～３週間だよ。

【雑　学】日本の西と東で夜に光る時の速さが違うよ。

ハサミツノカメムシ

（*Acanthosoma labiduroides*）カメムシ目ツノカメムシ科

【生息地】日本全国の草むら

【大きさ】１６～１８mm

【食　性】針のような口を刺してミズキやヤナギ類の植物の汁を吸うよ。

【特　徴】成虫は５月～１０月にみられるよ。体は鮮やかな緑色で、胸の両端が角のようにとがっているよ。

【雑　学】同じカメムシの仲間は日本に８００種類ぐらいいるよ。

ツマグロバッタ

（*Stethophyma magister*）バッタ目バッタ科

【生息地】水辺周辺など少し湿った草原

【大きさ】メスの方が大きく、３０～４０mm

【食　性】エノコログサやススキなどイネ科の植物の葉を食べているよ。

【特　徴】オスの体は鮮やかな黄色で、メスは地味な枯草色をして翅の先とあしは黒色だよ。

成虫は６月～９月に見られるよ。

シチッ！シチッ！と発音して鳴き、オスは移動する時に翅を使ってよく飛ぶよ。

ヤマトシジミ

（*Pseudozizeeria maha*）チョウ目シジミチョウ科

【生息地】平地の道端、耕作地や人家周辺

【大きさ】翅を広げると２０～２８mm

【食　性】幼虫はカタバミの葉を食べ、成虫はカタバミなどの花の蜜を吸うよ。

【特　徴】３月～１１月に成虫が見られるよ。
オスの翅の表面は明るい空色、メスの翅の表面は黒色をしているよ。

【雑　学】翅を閉じている様子がシジミ貝に似ていることからこの名前がついたよ。

ナナホシテントウ

（*Coccinella septempunctata*）コウチョウ目テントウムシ科

【生息地】日本各地の草地や畑

【大きさ】５～８mm

【食　性】肉食性で主にアブラムシ類を食べているよ。

【特　徴】４月～１１月に成虫が見られるよ。
触るとあしを縮めたり、体から黄色のいやな臭いが
する液をだして、食べられないようにしているよ。

【雑　学】派手な赤色は敵を警戒させるためだと考えられてるよ。

ナミテントウ

（*Harmonia axyridis*）コウチョウ目テントウムシ科

【生息地】住宅地から山地

【大きさ】５～９mm

【食　性】肉食でたくさんのアブラムシを食べるよ。

【特　徴】成虫は３月～１１月に見られるよ。

翅の模様は２００種類以上もあるよ。

メスはあごやおなか側が黒色なのでオスと区別できるよ。

びっくりすると脚の付け根から黄色の苦い液体を出すよ。

ヒメジャノメ

（*Mycalesis gotama fulginia*）チョウ目タテハチョウ科

【生息地】河川敷の草原や樹林地

【大きさ】翅を広げると３０～４０mm

【食　性】花にはあまり近づかず、樹液や熟した果実に集まる。

【特　徴】成虫は５月～１０月に見られるよ。
草むらの低いところを上下にゆれながら飛ぶよ。
表翅にも茶色のヘビの目模様がついているよ。

キボシカミキリ

（*Psacothea hilaris*）コチョウ目カミキリムシ科

【生息地】住宅地、農地、森林、土水路

【大きさ】体長は約３cm

【食　性】ヤマグワやイチジクなどマグワ科の植物を食べるよ。

【特　徴】成虫は５月～１１月に、見ることができるよ。
オスはしま模様の長い触覚を持っているよ。
全身が深緑色で、うすい黄色の斑紋があるよ。
成虫は夜に光に寄せられて街灯に飛んでくることも
あるよ。

ハグロトンボ

（*Calopteryx atrata*）トンボ目カワトンボ科

【生息地】里山の水辺、川の近くの草原や林

【大きさ】体長は約６cm

【食　性】小さな昆虫

【特　徴】翅の色は真っ黒で、オスの体は緑色の金属光沢をしているよ。
翅を閉じて、木や草に止まるよ。

【雑　学】翅の色が「お歯黒」に似ていることからこの名前がついたよ。

キタテハ

（*Amorpha fruticosa*）チョウ目タテハチョウ科

【生息地】荒れ地、河原など開けた場所

【大きさ】前翅長は２０～３５cm

【食　性】幼虫はカナムグラの葉を食べて成長するよ。

【特　徴】成虫は春から秋に見ることができるよ。

成虫の翅模様は夏と秋で色や形が少し違うよ。

幼虫の時は葉を丸めて巣を作り、中に隠れているよ。

セスジイトトンボ

（*Cercion hieroglyphicum*）コウチュウ目ホタル科

【生息地】平地や丘陵地の水草の多い池や流れの緩やかな川

【大きさ】体長は約３～４cm

【食　性】小型の昆虫を食べるよ。

【特　徴】成虫は５月の上旬から９月の下旬まで長期間見ることができるよ。
水面スレスレを滑るようにして飛ぶよ。

【雑　学】背中の両端にある黒い条の中に筋があることからこの名前がついたよ。

コガネグモ

（*Argiope amoena*）クモ目コガネグモ科

【生息地】下流から中流域の河川敷、草原や山林

【大きさ】メスは２０～２５mm、オスは５～６mm

【食　性】肉食でクモの巣に引っかかった小型の昆虫などを食べるよ。

【特　徴】網にエサがかかるとすぐに近づいて、グルグル回しながら大量の糸で巻き付けるよ。
メスのお腹には黄色と黒の太いしま模様があるよ。
クモの巣の真ん中にあるＸ字形の白い「隠れ帯」はエサになる昆虫をおびき寄せる効果があるよ。

ショウリョウバッタ

（*Acrida cinerea*）バッタ目バッタ科

【生息地】日当たりのよい草地

【大きさ】体長は成虫のオスが約５ｃｍ、メスが約８～９ｃｍ

【食　性】イネ科の植物を食べているよ。

【特　徴】生息環境によって脱皮をするたびに体の色が変化するよ。
（緑色、茶色、緑色と茶色が混じった色など）
他のバッタと比べると体が細長いよ。

【雑　学】オスは飛ぶ時にチキチキと音を立てることから、
「チキチキバッタ」とも呼ばれているよ。

ツマグロヒョウモン

（*Argyreus hyperbius*）チョウ目タテハチョウ科

【生息地】日当たりのよい川沿いや庭園

【大きさ】翅を広げると約７～８ｃｍ

【食　性】幼虫はスミレ類の葉を食べて、成虫はコスモスやキツネアザミなど色々な花の蜜を吸うよ。

【特　徴】メスは前翅の先に斜めの白い帯状の模様がついているよ。幼虫の体は真っ黒で、背中に一本の赤い帯と、トゲをたくさんつけているよ。

【雑　学】毒をもつ「カバマダラ」に翅の模様を真似て、敵から襲われないようにしているよ。

ジュウサンホシテントウ

（*Hippodamia tredecimpunctata*）コウチュウ目テントウムシ科

【生息地】川や湖、池、河口、海岸などのヨシ原

【大きさ】成虫の体長は約４～６ｍｍ

【食　性】主にアブラムシ類を食べているよ。

【特　徴】名前のとおり体には１３個の黒い斑紋があるよ。
他のテントウムシと比べて体が細長いよ。

【雑　学】昔は日本にいなくて北アメリカからやってきた
外来種だよ。

ニホンミツバチ

（*Apis cerana*）ハチ目ミツバチ科

【生息地】岩穴、木のうろ、石積みの隙間

【大きさ】成虫の体長は約１２～１３ｍｍ

【食　性】植物の蜜や花粉を食べているよ。

【特　徴】元々日本に生息している野生のミツバチだよ。
とてもおとなしい性格で人を刺すことはほとんど
ないよ。

【雑　学】花の蜜や花粉を集める働きバチはみんなメスだよ。

マメハンミョウ

（*Epicauta gorhami*）コウチュウ目ツチハンミョウ科

【生息地】日本各地の草地や畑

【大きさ】成虫の体長は約２ｃｍ

【食　性】成虫は様々な植物の葉を食べているよ。

【特　徴】突然現れて集団で行動をしていることが多いよ。
畑の大豆やトマトの葉を食べつくすこともあるから
害虫になることもあるよ。
カンタリジンという猛毒を体内に持っているよ。

アオメアブ

（*Cophinopoda chinensis*）ハエ目ムシヒキアブ科

【生息地】草原や林縁など明るい場所

【大きさ】成虫の体長は約２～３ｃｍ

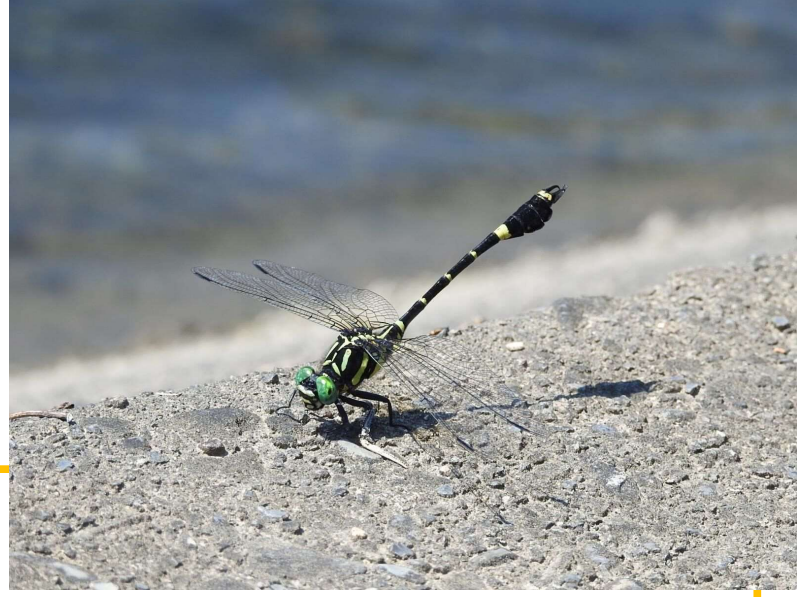
【食　性】いろいろな昆虫を捕まえて体液を吸うよ。

【特　徴】相手の不意を突いて鋭い口吻を後ろから刺して獲物を仕留めるよ。
作物を食害する虫もたくさん食べるから「益虫」として農家に喜ばれることもあるよ。

【雑　学】自分の体より大きなトンボやセミを獲物として狙うこともあるよ。

オナガサナエ

（*Melligomphus viridicostus*）トンボ目サナエトンボ科



【生息地】平地から低山地の清流

【大きさ】成虫の体長は約５～６ｃｍ

【食　性】様々な昆虫を食べているよ。

【特　徴】６月～７月に羽化した後は草むらや山へ移動して、８月～９月にかけて川に戻ってくるよ。成熟すると、複眼が褐色から澄んだ緑色に変わるよ。

【雑　学】オスの腹端部分が黒色で長いことからこの名前がついたよ。

ウスバキトンボ

（*Pantala flavescens*）トンボ目トンボ科

【生息地】開けた野原

【大きさ】ヤゴの体長は約２ｃｍ、成虫の体長は約５ｃｍ

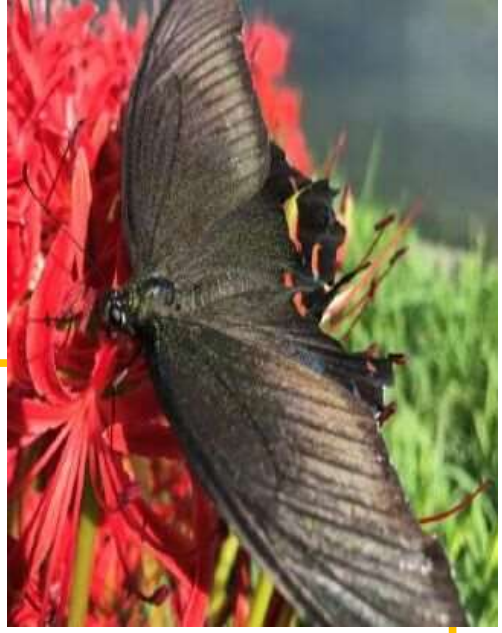
【食　性】肉食性で小型昆虫を空中で捕食するよ。

【特　徴】体は薄い橙色で、後翅の根元がほんのり黄色だよ。

【雑　学】日本では数が多く、最も普通に見られるトンボだよ。
日本だけでなく、世界中の熱帯・亜熱帯の地域に分布しているよ。

カラスアゲハ

（*Papilio dehaanii*）チョウ目アゲハチョウ科



【生息地】主に山地の樹林帯

【大きさ】成虫の開長は約８０～１１０mm

【食　性】成虫はツツジ、クサギ、ネムノキなどの花の蜜を吸うよ。

【特　徴】翅の表面は黒色で青緑色の鮮やかな鱗粉が広がっているよ。

幼虫はミカン科の木の葉を食べているよ。

普段は樹林に生息しているけど、花の蜜を吸うために、都市部の河川や畑まで飛んでくるよ。

トノサマバッタ

（*Locusta migratoria*）バッタ目バッタ科

【生息地】川原などの開けた場所

【大きさ】成虫の体長はオスが約４ｃｍ、メスが約６～７ｃｍ

【食　性】草食性でイネ科やカヤツリグサ科の植物を食べているよ。

【特　徴】生息している場所によって体の色が変化するよ。

【雑　学】飛ぶ力が強く、成虫になると１００ｍ以上飛ぶこともあるよ。

日本に生息するバッタの中では特に大きいよ。

キマダラカメムシ

（*Erthesina fullo*）カメムシ目カメムシ科

【生息地】森林や公園など木のある場所

【大きさ】成虫の体長は約２ｃｍ

【食　性】サクラやカキなど、樹木の汁を吸うよ。

【特　徴】成虫の体には黄色の目立つ斑点があるよ。

【雑　学】長崎県で初めて発見された外来種だよ。
背中の黄色い斑点から「キマダラ」の名前がついたよ。
日本で見られるカメムシの中では最も大きい種類だよ。

アシナガモモブトスカシバ

（*Macroscelesia longipes yamatoensis* Arita, 1992）

チョウ目スカシバガ科

【生息地】ウリ科植物のゴキヅルが生える水辺

【大きさ】成虫の体長はオスが約１８～２４mm、
メスが約１９～２８mm

【食　性】幼虫はゴキヅルの樹液を吸って大きくなるよ。

【特　徴】幼虫はゴキヅルの茎や実の中に潜って生活しているよ。
成虫の脚にはフサフサとした毛が生えているよ。

【雑　学】環境省のレッドリストでは絶滅危惧種第Ⅱ類に指定
されているよ。

ベニシジミ

（*Lycaena phlaeas*）チョウ目シジミチョウ科

【生息地】川岸、畑、田んぼ、草原

【大きさ】翅を広げると約３ｃｍ

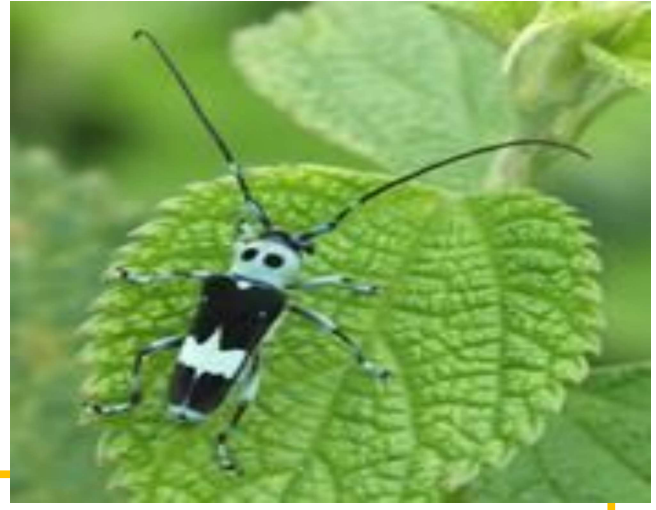
【食　性】幼虫はスイバやギシギシの葉を食べているよ。

【特　徴】春から夏の成虫は翅が黒っぽくなるよ。
高い所は飛ばず、低い所をチラチラ飛んでいるよ。

【雑　学】１９９７年には切手のデザインに選ばれたよ。

ラミーカミキリ

（*Paraglenea fortunei*）コウチュウ目カミキリムシ科



【生息地】道端や川沿いに生えているカラムシの周り

【大きさ】成虫の体長は約１～２ｃｍ

【食　性】初夏にはカラムシを食べに集まるよ。

【特　徴】背中の模様がパンダの顔に似ているよ。

【雑　学】地球が暖かくなった影響で、岐阜県にも生息できるようになったよ。
昔は日本にいなかった外来種だよ。

ヨコヅナサシガメ

（*Agriosphodrus dohrni*）カメムシ目サシガメ科

【生息地】街路樹などのサクラの幹

【大きさ】成虫の体長は約２ｃｍ

【食　性】イモムシなどの体液を好んで吸うよ。

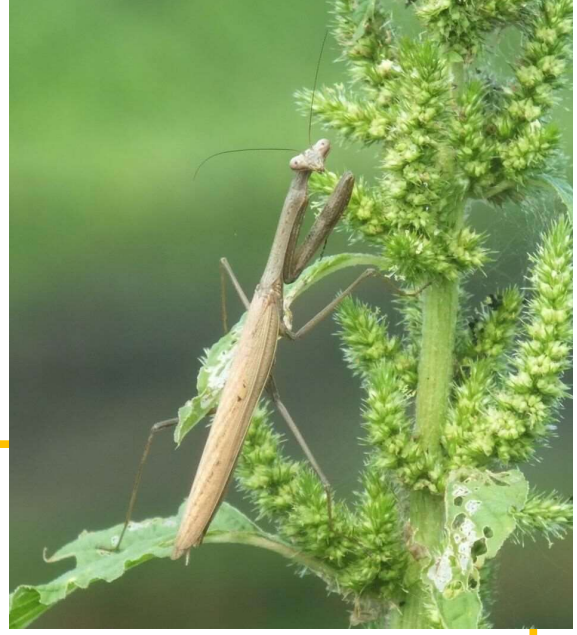
【特　徴】お腹が「うちわ」のように平たくて、ふちには目立つ白い縞模様があるよ。

昆虫の体に口の針を刺して、体液を吸い取るよ。

【雑　学】今から１００年くらい前に中国からやってきた外来種だよ。

コカマキリ

（*Statilia maculata*）カマキリ目カマキリ科



【生息地】川岸、草原

【大きさ】成虫の体長は約４～６ｃｍ

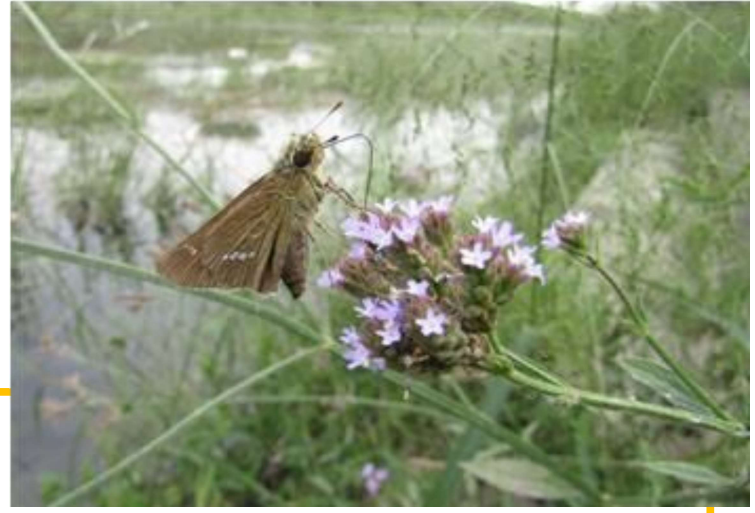
【食　性】バッタやチョウなど小型の昆虫類を主に食べているよ。

【特　徴】前脚には目立つ黒い模様があるよ。
体は茶色だけど、まれに緑色の個体もいるよ。

【雑　学】前脚を持ち上げて待ち伏せする姿が祈っているように
見えるから「おがみむし」と呼ばれることもあるよ。

イチモンジセセリ

（*Parnara guttata*）チョウ目セセリチョウ科



【生息地】河原、草原、公園

【大きさ】成虫の体長は約２０mm、開翅長は約３５mm

【食　性】イネ、ススキ、エノコログサなどを食べているよ。

【特　徴】翅は地味な茶色で、白い斑点がつながった一文字模様があるよ。
他の蝶と比べると胴体が太いよ。

【雑　学】幼虫は葉を巻いて巣（ツト）を作ることから、「イネツトムシ」と呼ばれているよ。